

令和4年11月25日発行  
 発行/宇佐市議会  
 直通:0978-32-2328  
 Fax:0978-32-1437

# 宇佐市議会



## 宇佐神宮 仲秋祭「放生会」～未だ続く宇佐神宮最古の祭祀儀礼～

奈良時代から1300年以上受け継がれてきた宇佐神宮の伝統行事「放生会」が3年ぶりに開催された。県選択無形民族文化財でもあり、和間神社を主な舞台として3日間に限り、地域一丸となり子どもから大人まで現在も大事に取り組んでいる。放生会発祥の地として、その背中には「責任とプライド」を背負い、道行囃子が鳴り響く中、黄金の田圃の中を威風堂々と進んでいく姿に感動した。

(和気 伸哉)


### 9月定例会

○令和4年度宇佐市一般会計補正予算ほかを可決

スマホも対応!

議会ホームページ

- 目次
- 9月定例会の概要・委員会審査・本会議の審議結果……………P. 2～3
  - 9月定例会の一般質問……………P. 4～10
  - 特別委員会の報告、12月定例会の予定ほか……………P. 11
  - 常任委員会の研修報告……………P. 12

宇佐市議会 検索 



# 9月定例会の概要

令和4年9月第4回定例会が、8月30日から9月22日までの24日間の会期で開かれました。市長から提出された議案14件（予算案2件、条例案3件、決算認定案6件、その他議決案3件）のうち、10件を原案のとおり可決・認定し、決算認定案4件を閉会中の継続審査としました。また、意見書案1件を原案のとおり可決しました。

## 【本会議第1日】（8/30）

- ① 議案等の上程及び説明
- ② 継続審査、調査となっている付託事件の報告

## 【本会議第2日】（9/6）

台風のため休会

## 【本会議第3～5日】（9/7～9）

- ① 一般質問

## 【本会議第6日】（9/13）

- ① 新医師会病院・検診センター建設に関する調査特別委員会の設置

- ② 議案質疑

- ③ 議案等の委員会付託

## 【本会議第7日】（9/22）

- ① 追加議案等の上程及び説明

- ② 追加議案に対する質疑

- ③ 決算特別委員会の設置及び選任

- ④ 新医師会病院・検診センター建設に関する調査特別委員会委員の選任

- ⑤ 追加議案の委員会付託

- ⑥ 委員会の審査報告と質疑・討論・採決

- ⑦ 閉会中の継続審査及び調査

- ⑧ 意見書案の上程と質疑・討論・採決

## 委員会の審査結果

### 総務常任委員会（9月14日 審査）

番号	件名	結果
議第37号	令和4年度宇佐市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議第41号	宇佐市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	//
議第42号	宇佐市手数料条例の一部改正について	//
議第43号	宇佐市ふるさと応援基金条例の一部改正について	//
議第44号	権利の放棄について	//

### 文教福祉常任委員会（9月14・22日 審査）

番号	件名	結果
議第37号	令和4年度宇佐市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議第38号	令和4年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第1号）	//
議第45号	市有財産の無償貸付けについて	//
議第46号	工事請負契約の締結について	//
議第48号	令和3年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
議第49号	令和3年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議第50号	令和3年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	//

### 産業建設常任委員会（9月15日 審査）

番号	件名	結果
議第37号	令和4年度宇佐市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議第39号	令和3年度宇佐市水道事業会計決算の認定について	原案認定

議第 40 号	令和 3 年度宇佐市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
議第 42 号	宇佐市手数料条例の一部改正について	原案可決

## 決算特別委員会 (9月22日 審査)

番 号	件 名	結 果
議第 47 号	令和 3 年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査

# 本会議の審議結果

### ○議案

(※印は全会一致でない議決)

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議 第 37 号	令和 4 年度宇佐市一般会計補正予算 (第 4 号)	各常任委員会	原案可決 ※
議 第 38 号	令和 4 年度宇佐市介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)	文教福祉	//
議 第 39 号	令和 3 年度宇佐市水道事業会計決算の認定について	産業建設	原案認定
議 第 40 号	令和 3 年度宇佐市下水道事業会計決算の認定について	//	//
議 第 41 号	宇佐市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総 務	原案可決
議 第 42 号	宇佐市手数料条例の一部改正について	総務・産業建設	// ※
議 第 43 号	宇佐市ふるさと応援基金条例の一部改正について	総 務	//
議 第 44 号	権利の放棄について	//	//
議 第 45 号	市有財産の無償貸付けについて	文教福祉	//
議 第 46 号	工事請負契約の締結について	//	//
議 第 47 号	令和 3 年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査
議 第 48 号	令和 3 年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	//
議 第 49 号	令和 3 年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	//	//
議 第 50 号	令和 3 年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	//	//

### ○意見書案

番 号	件 名	結 果
意見書案第 5 号	地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決

### ○全会一致でなかった採決結果

議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	若山雅敏	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	衛藤義弘	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林寛	大隈尚人	高橋宜宏	中村明美	永松郁	浜永義機	衛藤博幸	
議 第 37 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議 第 42 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	

原案に賛成：○ 原案に反対：×

## 特別委員会を設置し委員の選任をしました

### ○決算特別委員会 (12 名)

(令和 3 年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の審査を行います)

- ◎若山 雅敏
- 衛藤 義弘
- 井本 裕明
- ◎浜永 義機
- 吉田 泰秀
- 林 寛
- ◎赤野 道和
- 河野健治朗
- 今石 靖代
- ◎川谷 光紹
- 河野 睦夫
- 辛島 光司

### ○新医師会病院・検診センター建設に関する調査特別委員会 (10 名)

- ◎辛島 光司
- 河野 睦夫
- 若山 雅敏
- ◎川谷 光紹
- 多田羅純一
- 河野健治朗
- ◎和気 伸哉
- 井本 裕明
- 中本 毅
- ◎吉田 泰秀

◎委員長 ○副委員長

※詳しくは、P11 をご覧ください



# 社会変化によるイノベーション



河野健治朗（政友会）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

**問①** 新しい観光への取り組みとして、サイクルツーリズムの推進に期待をしているが、現在の成果と整備状況は。

**答** 現在5カ所の既存サイクルハブの整備に加え、新たに9カ所の新設と、18カ所の観光地にサイクルスタンドの設置を行い、今年度を含め3カ年計画で推進を行う。

**問②** 単身でのワーケーションの需要が多くなるなど、この数年で多様な選択ができるようになったが市の対応は。

**答** ワーケーションプランの作成は、ウィズコロナの働き方として魅力あるものと考え、他団体の運用状況や既存公共施設の活用を含め調査研究していく。

**問③** サテライトオフィスの誘致やコワーキングスペースの施設設置について、今後どのような

に進めていくのか。

**答** サテライトオフィス等誘致促進を図るため、整備を行う事業者等を対象とした補助金を今議会で補正予算として提案している。今後も制度周知を図り、積極的に誘致に努める。

**問④** 指定福祉避難所の整備について、要配慮者から災害時の不安の声が自立支援協議会へあげられているが、今後どのような対応を検討しているか。

**答** 来年度に指定福祉避難所が設置できるよう現在設置場所の選定や受入対象者の把握を行い、要配慮者の支援強化に努める。

**問⑤** ネット犯罪やネットトラブルから子供達を守るために専門家によるサイバーセキュリティセミナーやネットリテラシー教育が有効だが市の対応は。

**答** 各校において情報モラル教育を児童生徒の発達段階に応じて行っている。また、専門家による学習については、本年度18校がネットリテラシー教育に関する学習を実施、または予定している。教育委員会としては、「自分で判断するための知識を身につけること」は重要であると捉えている。

# 統一協会との関係



今石靖代（日本共産党）

**問①** 統一協会は関連団体が多く、知らないうちに自治体や首長が関わっている。市は、団体のイベントに職員派遣やメッセージ送付をしたことはあるか。

**答** 職員の派遣や祝電の送付などの実績はないと認識している。是永市長自身も、協会との関係は一切ない。

**問②** 熱中症で搬送される方が年々増えている。エアコン設置への補助を創設するべきだが。

**答** 社会福祉協議会の貸付制度の利用を促していく。

**問③** ごみの分別収集について、10月からのごみ袋代の引き下げについて、継続してほしいという声が多い。また、県下のほとんどが、ごみの量による値段設定をしている中、小が特に高過ぎるので改善を。

**答** 感染状況や経済状況、排出

量などをみて適切に判断する。

(2) 大分市や中津市では、草木や落ち葉は無料で収集している。野焼き防止や環境美化のためにも無料にするべきだが。

**答** 現時点では考えていない。

**問④** 中小事業・農業者支援。(1) 来年10月から実施されるインボイス制度について、地域経済への影響を考え中止を求めざるべきでは。また、シルバー人材センターにとっては死活問題であり、支援を。

**答** 必要な制度であり、円滑な導入のため周知を図る。シルバの状況について注視していく。

(2) 長引くコロナ禍の物価高で事業者は深刻な状況である。今こそ広く直接給付や、固定費への支援が必要だが。

**答** 国の交付金で検討していく。

(3) 国保税のコロナ減免は条件に矛盾がある。市独自で改善を。

**答** 国の方針通り行う。

**問⑤** 肥料代が高騰する中、し尿肥料の無料配布は、袋詰めなど市民が使いやすい提供しては。

**答** 新たな施設整備は難しい。

**問⑥** 教育は無償でという憲法に照らして、給食費を無料にするべき。まず多子世帯の軽減を。

**答** 国の動向等を注視していく。

# 住みよいまちづくりについて



吉田泰秀（求道会）

**問① 長洲漁港へのゴミの流れ込みを止める工事内容や工期は。**  
**答** 水産基盤整備事業において、漁港の出入口に浮体式導流堤を設置することにより、大雨や台風時に漁港出入口を閉鎖し、流木などの流入を防ぐ計画をしている。今年度は長洲漁港の3つの港の測量・設計を行い、令和5年度に新港への浮体式導流堤設置を予定するとともに、新港以外の港についても漁協等と協議を行いながら進めていく。

**問② JR柳ヶ浦駅について。**  
**答** 令和5年度の事業完了を目指している。

**(2) 駅前広場に飲食店出店などの計画はあるか。**  
**答** 駅前広場整備後、広場や駅舎を活用したイベント等を定期的に開催し、駅前空間に賑わい

を創出することで、民間活力の誘致に結び付けいきたいと考えている。

**問③ 響山公園の駐車場に続く道が狭く、大変危険である。安全面を考え整備ができないか。**  
**答** 利用状況等を踏まえ、安全対策など関係機関との連携を図り、公園の景観および公園利用者の利便性の向上に努めていく。

**問④ 通学路に危険箇所がある場合、注意喚起の立て看板は申請したら建ててもらえるのか。**  
**答** 地域やまちづくり協議会などから「飛び出し注意」の看板を設置したいと相談を受け、通行に支障が生じない範囲で、市道に設置及び使用許可をしている。また、看板以外にも路面標示やランプ等、現場に応じた安全対策が有効と考えているので、今後も関係機関との連携により事故のない安全安心なまちづくりに努めていく。

**問⑤ 宇佐高田医師会病院について、豊後高田市との連携は。**  
**答** 豊後高田市と宇佐高田医師会病院が十分連携のうえ、展開していると考えている。

※その他の質問  
 ・フラワーロードに関して。  
 ・消防職員の負担軽減に関して。

市政一般に対する質問

# 学校現場の生の声に耳を傾けて



赤野道和（日本共産党）

**問① 学校現場の生の声から。**  
**(1) 教職員確保のために、国・県へどのような働きかけを行い、市教委としてどのように努力しているのか。**  
**答** 今後も欠員解消に向け、国・県に要望を続けるとともに、学校現場の支援につながるような市費負担職員の配置に努める。

**(2) 毎年続く酷暑の中、特別教室へのエアコン設置計画は。**  
**答** 令和2年度に全ての7中学校への設置が完了。小学校では令和3年度末、24校のうち6校で完了した。現時点、未整備教室への設置計画はない。

**(3) 安倍元首相の国葬について、各小中学校に対して弔旗の掲揚や黙とう等を求める通知を出さないように求める。**  
**答** 市教育委員会としては、通知を出すことは考えていない。

**問② 高齢者の交通手段確保を。**  
**(1) 安心院町津房地区で行われている予約制乗合タクシーと安心院中心部循環バスの実証運行の成果と課題、今後の方向性は。**  
**答** 予約制乗合タクシーの利用者からは「家の近くまで送迎してくれるので、助かっている」などの評価を頂いている。予約制なので、空車を削減できている。どちらも周知不足が課題となっている。今後は、本格運行をめざしていきたい。

**(2) 運賃の値上げは避けるべきと考えるが、いかがか。**  
**答** コミュニティバスと予約制乗合タクシーとは、サービス内容も必要となる経費も異なるため、運賃の妥当性については、実証期間中に検証を行っていく。

**(3) 将来の、宇佐市全体をみた高齢者の交通手段の確保を、どう展望しているのか。**  
**答** 現在実証運行中の予約制乗合タクシーに関しては、今後、対象エリアを徐々に拡大する方向で各地区と協議を進めていく。

※その他の質問  
 ・市道の管理について。  
 ・市営住宅等の入居について。  
 ・新型コロナウイルス感染から、市民の命を守るために。



# アフターコロナからの観光振興他



衛藤義弘 (公明党)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① アフターコロナを見据えた観光戦略について。

答 (1) アウトドアが脚光を浴びている。宇佐市の大自然を生かして地域を生き返らせる戦略を今考えるべきではないか。

答 まちづくり協議会をはじめ、地域の活動団体が地域を観光スポットにし、人を呼び込む仕掛けを模索している。団体と連携し、事業の紹介など可能な限り支援をしていきたい。

問② 村まるごとツアーの企画運営会社がある。地方創生事業会社「まじゆめ」は、49地域で伴走型コンサルティングを展開している。社長いわく「何もならからよい」。依頼を目標すべきでは。

答 不便さを逆手に取り、村全体で地域づくりにつなげる事例があった。まちづくり協議会や地域と連携し、構築していき

いと考えている。

問② 物価高や長期の熱帯気候で電気代がかさんで生活が厳しい現状がある。世帯ごとに現金給付をすべきではないか。

答 国の増額予算の提示がまだない。市民・事業者ニーズの把握に努めていく。

問③ 子ども食堂へ農家の商品にならない食材を、冷蔵庫ボックス設置などで対応は可能か。

答 社協が対応。食材の提供は基本的に対面での対応。野菜や生もの鮮度が高いものは、衛生管理を考慮しての対応となる。

問④ 変異株(オミクロン株)はBA5系統への置き換わりが進んでいる。ワクチンの年代別接種や抗原検査キットの状況は。

答 8月末時点の3回目接種は10代43%、20代51%、40代64%、50代77%、60〜64歳80%、65歳以上91%で若い世代が低い状況。感染が確認された事業所195カ所、5853個を配布した。

問⑤ チャイルドシートを貸し出して、子育て世代の一助として対応すべきでは。

答 出産時に子育て祝い金事業を実施している。

問⑥ 財政で固定費見直しは。施設総量の縮減に取り組む。

# 今こそ農業立市を目指して



和気伸哉 (求道会)

問① 本市は、県外からの企業誘致や農業法人の誘致を推進しているが、現在までの企業参入数と雇用状況は。

答 毎年2社ほどの農業参入企業を受け入れ、累積数は36社となっており、雇用状況は各社平均して、正規従業員を3名、非正規従業員を8名雇用している。

問② ロボット技術やICTを活用することで作業の省力・軽量化を進め、新規就農者の確保や栽培技術力の継承等が期待されるスマート農業の普及状況は。

答 市内においても土地利型農業を展開する大規模農家を中心に導入が始まっている。

問③ ジビエ利用の主な対象が猪や鹿となるが捕獲頭数に対してジビエ利用の割合は。

答 ジビエ処理加工施設での利用は猪88頭で約5%、鹿323

頭で約9%となっている。

問④ 空き家バンクの登録物件数と成約件数は。

答 登録物件数については、概ね80件程度が常時登録されており、令和3年度の成約件数は58件となっている。

問⑤ 道の駅うさ(仮称)の進捗状況と今後の計画は。

答 国・市の整備区分において、ほぼ用地取得を完了し、物件の移転補償の契約を行なっている。今後の計画は、施設の造成工事を今年度中に完成させ、令和5年度から建築工事の発注計画を予定している。

問⑥ まちづくり協議会や近隣自治体との連携は。

答 19団体あるまちづくり協議会へさまざまな提案をしていき、近隣自治体との連携は不可欠と考えている。

問⑦ 生理の貧困の解消策として、昨年10月から公共施設と小中学校の女子トイレに生理用品を常備しているが、1年間の利用状況は。

答 公共施設で4984個の使用、小学校は18%、中学校は29%の利用率で日常的に安心できることや自分の体の相談ができるようになったとの声がある。

# まちづくり協議会の問題点と今後



高橋宜宏 (至誠会)

- 問① まち協の予算の総額は。  
 答 19地区のまち協で、およそ6000万円超。
- 問② 院内町のDまち協は、会員が総会に参加できないし、決算報告もしていない。問題では。  
 答 この地区は代議員制を採用。まち協の判断と認識している。
- 問③ 日本は専制国家ではない。代議員制だから会員に決算報告をしなくていいとか、総会に参加させなくていいというのは問題だ。市長はどうお考えか。  
 答 初めて聞いた。支所長を通じて実態を調査させる。
- 問④ 会員がDまち協の帳簿等の閲覧希望をしたが断られたという。閲覧の基準はないのか。  
 答 閲覧の基準は、その当時示していないかった。
- 問⑤ 予算書に令和2年度の支出として、地元の神社へ賽銭箱

10万2862円の寄付がある。交付金で特定の宗教団体への寄付行為は問題ないのか。

答 令和2年度に購入。交付金支出にそぐわないといった疑義が生じ、翌年度に自己資金会計より返還された。

問⑥ ある会員の指摘で急ぎよ返還した。行政のチェックができていなかったのでは。

答 もう少し精査が必要だった。

問⑦ まち協は会長以下役員報酬を認めているのか。

答 事務局手当のみ認めている。

問⑧ 自己資金会計に事務局の賃金の一部を年間21万円予算化し寄付させ、役員手当に総額19万7千円支払っている。迂回献金みたいで不健全では。

答 Dまち協に詳細を確認していないので確認し、必要な協議をしていく。

問⑨ 市はこれまでお金にまつわるいろんな事件が発覚。今後委託事業や補助事業で、市独自のチェックリストを作成し活用してはどうか。

答 総括的かつ個別事業のチェックのために、どういったものが必要かなど各課と策定に向けて協議する。

# 再生可能エネルギー「小水力発電」を



河野睦夫 (政友会)

- 問① 脱炭素に向けた取り組みについて。
- 答 啓発等の取り組みは。
- 問② 「ゼロカーボンシティ」宣言以降、「おしえてエコキッズ」と題し、子どもならではの目線で地球温暖化について考えてもらう取り組みや、市民の脱炭素に関する意識調査を行っている。
- 問③ 農業用水等を利用した小水力発電に取り組んでは。
- 答 地産地消の再生可能エネルギーの利用推進も重要な取り組みの一つとして掲げ、農業用水を小水力発電に活用できないか調査・研究している。
- 問④ 带状疱疹ワクチンについて。
- 答 带状疱疹の罹患状況とワクチンの有効性は。
- 問⑤ 带状疱疹は80歳まで約3人に1人がかかるといわれ、ワ

クチンは生ワクチンと不活化ワクチンの2種類がある。有効性は、生ワクチンが50〜69歳で90%、不活化ワクチンが50歳以上で97%といわれている。

問⑥ ワクチン接種費用の助成を。  
 答 1回あたりの接種費用は、2万〜3万円で、定期予防接種でないため全額自己負担となっている。助成については、国や県、各自治体の動向を注視していく。

問⑦ 地籍調査について。  
 答 令和3年度末で進捗率は16%となっている。課題としては、山間部で地権者の高齢化や山林の荒廃も進んでいるため、境界確認のための物証が失われ、調査が困難になりつつあることがあげられる。

問⑧ 今後どのような計画で進めていくのか。  
 答 「第7次国土調査事業十箇年計画」に基づいて事業実施をしており、今後も国や県、関係部署と連携し取り組んでいく。

※その他の質問  
 ・介護職等人材不足の現状について。  
 ・犬・猫マイクロチップ装着費用の助成について。



## 公用車に自動ブレーキを



中本 毅 (令和新政会)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 市の過失割合が100%の自動車事故が本年またしても発生している。市が他者に対して純粹に迷惑をかけているというところであり、大変遺憾である。他方で、ヒューマンエラーは起り得るものであり、人間を責めるばかりでなく、物理的に発生を防ぐ仕組みも重要である。近年、衝突や踏み間違いに対する自動ブレーキ技術が普及しており、そうした装備を市の公用車にも積極的に導入してはどうか。

答 市職員の公務上の交通事故が重ねて発生していることについては、大変申し訳なく思っている。議員指摘の自動ブレーキ機能については、自動車に搭載したカメラやレーダーにより、前方の障害物との衝突を予測して警報を鳴らしたり、被害軽減

のための制動制御を行う装置で、衝突事故の未然防止に大いに役立つ機能であると認識しており、自動ブレーキ機能の付いた公用車を現在5台配置している。公用車の更新時には、ドライブレコーダーの導入と合わせて、自動ブレーキ機能の導入に関しても、積極的に推進していきたい。

問② 女性の活躍推進について、今春の人事異動により、市の女性管理職比率は23.5%に上昇したと認識している。県下の市町村でトップの比率ではないかと推測するが、実態は。また、今後の幹部登用方針は。

答 今年度の女性管理職員数は、部長級1人、課長級11人、合計12人であり、昨年度と比べ3人増加している。消防職員を除く女性管理職員の割合は、昨年度から5.9%上昇し、23.5%となっており、県内他市の状況を確認したところ、議員推測のとおり本市が最も高い比率であった。引き続き、人材育成・キャリア形成支援の取り組みを推進するとともに、適材適所を基本とした管理職員への積極的な登用に努めていく。

## 継続した支援を



多田羅純一 (市民れんごう)

問① 継続したコロナ対策について。

(1) 市内の無料検査は8月末迄となっているが、延長についてどのように考えているか。

答 本市としては、国や県の動向を注視し、関係機関と連携しながら周知に努める。

(2) 幼稚園・保育園・小中学校・高齢者福祉施設などに配布した抗原検査キットは1度限りだが、新たな配布は検討しているか。

答 県の事業を活用するとともに、新規感染者が確認された市内の事業所に対して、抗原検査キットの配布を継続していく。

(3) 依然として飲食業は厳しい状況が続いている。継続した支援はどのように考えているか。

答 商工団体と連携しながら、飲食店をはじめとする小規模事業者に対する効果的な支援策に

ついて、模索していきたい。

問② 带状疱疹予防接種について、50歳を過ぎると免疫低下により、3人に1人が発症するリスクが増える。市において、予防接種の助成はできないかとの声を聞くが、導入はできないか。

答 ワクチン接種の助成については、国や県、各市町村の動向を注視しながら調査研究する。

問③ 中小企業の人手不足について、解消するための新たな取り組みはあるか。

答 福岡市の拠点施設「dot」と連携し、福岡市近隣に居住している大学生などに対して、本市への就職促進イベント、企業見学バスツアー、企業説明会の開催などの取り組みを通じて、人材確保を図っていく。

問④ 包括連携協定について、災害時に民間企業から、どのような支援が受けられるのか。

答 災害時における土砂や倒木の撤去など、緊急作業に係る人員および重機などの提供や、生活物資・作業資機材を優先的に提供していただける。

※その他の質問

- ・電気自動車の購入補助など。
- ・海洋酸性化について。



# 誰もが安心して暮らせるために



川谷光紹 (求道会)

問① 地域のために。

(1) 宇佐高田医師会病院、及び宇佐高田地域成人病検診センターについて。

① 市で果たしている役割は。

答 宇佐高田医師会病院は、開放型病院として、第二次救急医療機関、へき地医療拠点病院、災害拠点病院、第2種感染症指定医療機関など多岐にわたっている。特に新型コロナウイルス感染症への対応では、入院患者の受け入れや、ワクチン接種で、改めて重要性を認識した。また、宇佐高田地域成人病検診センターは、健康増進と疾病の予防や早期発見、保健指導や巡回住民健診など、宇佐市民の健康づくりに必要不可欠な施設である。

② 在宅医療介護連携事業の、取り組み状況及び効果は。

答 住み慣れた地域で自分らし

い暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療機関と介護事務所等の連携を推進している。

③ 宇佐市で必要とされている医療は。また、新病院では新しく診療科が創設されるのか。

答 宇佐市では、生活習慣病の発症及び重症化予防を基本とし、心血管疾患や、がん医療に重点をおく。新病院では、循環器内科、腎臓内科に加え、内科、消化器外科、乳腺外科、心臓リハビリテーション科が開設されると聞いている。

④ 新病院の移転新設において、宇佐市の関わり方は。

答 今議会に土地の無償貸付を提案した。市民に有益と思われるものや、必要な周辺整備については、今後協議していく。

問② 子どもたちのために。

(1) 宇佐の魅力や伝統文化を子どもたちに伝えるために、「宇佐市かるた」を作成し配布する。とともに、ふるさと納税の返礼品や土産物として活用すること。で交流人口の増を目指しては。

答 文化財愛護や伝統文化を次世代へ継承することにつながる。と考える。文化財保存活用地域計画を作成中なので、今後とも調査研究する。

## 市政一般に対する質問

# 制度だけでなく支援体制の充実を



若山雅敏 (市民れんどう)

問① 育児・介護休業法の下で「産後パパ育休」などの制度が

本年10月より施行されるが、育休取得向上の取り組みは。また、市役所の取り組みを、男性の育児休業取得の推進に向け、どう発信していくのか。

答 仕事と子育てが両立しやすい職場づくりは、非常に重要と認識している。本市では、「うさし子育て応援企業認証制度」の実施とともに、男性の育休取得向上も「子育てパパ応援講座」の開催などに取り組み推進している。今後も、取得促進に向け調査研究を進める。また、市職員についても積極的な活用を働きかけ、その取り組みを発信することで、市全体の男性の育休取得の推進に繋げていく。

問② 引きこもりの対策について、当市の実態や相談件数は。

また、相談等の担当窓口や体制及び取り組み状況は。

答 現在、福祉課を相談窓口として、庁内関係課による「市生活困窮者等支援会議」を設置し対応している。相談件数は、推計される数からは少ない件数であり、実態調査の必要性は感じている。調査や支援方法について、「重層的支援体制整備事業」の活用を調査研究していく。

問③ ヤングケアラー等の相談・支援体制について。

(1) 現在の取り組みは。

答 県で24時間対応する専用の電話・SNSでの相談窓口を開設計体制を整えており、小中学校に啓発カードを配布した。

(2) 各学校との協力関係は必要だが、課題の把握や解決は行政主体で行うべきでは。

答 早期の発見には学校のみならず、他の機関とも協力関係が重要である。対応は関係機関と連携しながら行政主体で行っていく。

(3) 各種相談事業を含め、高校生への相談支援体制は。

答 高校生への各種相談事業は、県教育委員会を通じて周知に努めている。今後も、各高校と更に連携を強めていく。

# 平和ミュージアムにフライトシュミレーター装置の検討を



中村明美 (政友会)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 特認校（校区外通学容認等）の指定を受けた西馬城小学校は、地域やコーディネーターの長年の努力もあって課外活動に対し、文科大臣賞を受賞した。校区外からの希望者がいるのに、なぜ通学支援はできないのか。

答 当事者の責任で通学することになっており、他校との関係からもスクールバスは出せない。

問② 昨年、平田井路が世界かんがい施設遺産に登録されたこともあり、親水事業として拝田地区の堰上にカヌー施設ができないかとの問いに、手続きが難しいという答弁だったが、これを聞いた県カヌー協会の関係者が、この地を見て県下で最高の適地だと言った。IC玄関口でもあり、河川スポーツと行楽地を兼ねた地域活性化策として、カヌー場建設を再検討してほしい。

答 国が勧める河川環境整備で、支援制度を活用した事例が全国にあるので調査研究していく。

問③ 「宇佐ホテルリバーサイド」について、市商工会議所からの要請もあり、奨励金を出して会議所が素泊り対応のホテルとして1年間の再稼働を始めているが、その状況と今後の見通しについてどう考えているのか。

答 この2カ月は順調に推移しているという。現在、次の事業者の目処は立っていないが、今後もし引き続き会議所と協議していく。また、企業誘致支援事業の奨励金を活用して新たなホテル誘致に努める。

問④ 平成30年度に建設工事の入札不調になって以来、事業が止まっている「平和ミュージアム（仮称）」について、県が宇宙ビジネスに活路を見出している今、この施設のテーマに「空への憧れ」を追加し「空飛ぶ零戦構想」として、フライトシュミレーター・コックピットのコーナーを検討してどうか。

答 平和学習のための社会教育施設なので収益事業が目的ではないが、戦争の悲惨さを体験できる施設として、他市等の関連施設を見ながら調査研究する。

# 『ふるさとに、心を捧げる。』



辛島光司 (求道会)

問① 地域と暮らしを守る。

(1) 柳ヶ浦校区の課題について、柳ヶ浦小学校から江須賀踏切までの道路の歩道が狭く、水路との高低差もある。また、柳ヶ浦高校横の五百羅漢入口の道路は狭く曲がりくねっていて、水路が大きく高低差もある。この2つの道路はとても危険だと思つ。早急な整備が必要ではないか。

答 小学校前の江須賀中央線は、歩道改良に重点をおいた整備を行う。また、五百羅漢入口道路は路肩の補修と道路舗装を行う。

(2) 和間校区の課題について、海岸部の水門の改善を求めたが現状は。また、海浜公園への2車線化の改良を早急に再開、早期完成を求めるが。

答 和間海岸7樋門について、管理者(区分)が決まった。各々で対応方針を協議し、安全対策

に努める。また、2車線化は今年度も追加整備を行う。

(3) 高齢者の健康増進の観点から、カラオケとグランドゴルフに対して支援しては。

答 高齢になっても楽しみを持ち、生き生きと生活していただくよう取り組む。

問② 子どもたちの未来を守る。

(1) 「市民プールの利用料が高い」との声を多く頂戴した。来年度に向けて、市民料金の設定やエア遊具の検討をするべき。さらに、コロナ禍により、小中学校においては令和2・3年のプール授業は中止となり、子どもたちが泳げないまま成長していくことを危惧している。利用券無料配布や水泳教室などを検討しては。

答 来年度に向け、子どもが水に親しむ場として検討していく。

(2) 大型商業施設「コストコ」や「アウトレット」などの誘致を目指すべきでは。

答 市民のニーズに合った商業施設の誘致を推進していきけるよう、取り組んでいく。

※その他の質問

・宇佐高田医師会病院について。  
・通学路の危険箇所情報の共有について。



# 特別委員会の報告

## グリーンパークホテルうさに 関する調査特別委員会

本委員会は、グリーンパークホテルうさに関する調査・研究について設置された特別委員会であり、ホテルの継続、転用、売却について議論してきました。観光面においてもホテルの継続を第一に進めてきましたが、新型コロナウイルスの影響は大変厳しく、運営会社から撤退の意向を受けました。その後、市医師会が新医師会病院等の建設基本計画を策定し、「はちまんの郷エリア」が建設候補地となり、市及び(株)グリーンパークホテルうさ並びに市医師会の3者で締結した「立地協定」に基づき検討されました。



その結果、新医師会病院等が担う公共性や公益性を鑑みて、建物には成人病検診センターへの活用と売却、土地の使用については貸付面積を確認し議会へ報告しました。

## 新医師会病院・検診センターに 関する調査特別委員会

本委員会は、新医師会病院・検診センター建設及び周辺整備等に関する調査・研究を目的に設置されました。

宇佐市医師会が建設予定の新病院等は、市民の関心が非常に高く、市民の健康・福祉の増進に関する事業を担うことが期待されます。今後は、新病院の周辺エリアを「市民と憩いの健康づくりの場」とする市の構想と併せて、市民にとってよりよい施設となるように調査・研究します。



旧グリーンパークホテルうさ

## 議会活性化 特別委員会研修報告

10月17日から18日にかけて、宮崎市及び佐伯市で視察研修を行いました。

宮崎市では「議会活性化の取り組み」について、SNSを活用し市民等に議会の情報をより詳細にできるだけ早い情報発信を目指し取り組んでいることや、「宮崎市議会DXプロジェクト」として民間企業との連携によるデジタル機器を活用し市民とより繋がりやすくなり議会活動の幅を広げるためのDXプロジェクトの実証実験に取り組んでいること、佐伯市では「議会広報紙の作成」について、市民により議会活動に興味を持っていただく広報紙とするためのフルカラー化や記事や構成などの取り組みについて研修しました。両市とも、議員による説明や互いの課題等に対する意見交換もでき、今後の宇佐市議会の活性化や広報紙の充実の糧となるものでした。

※「DX」とはデジタルトランスフォーメーションの略で、情報技術が人々の生活をより良い方向に変化させること。

## 編集後記



いつもご覧いただきありがとうございます。みなさん、「議会だより」は誰が編集しているかご存じですか？市報と同じく市役所の秘書広報課？議会事務局？・・・いえいえ議会だよりは宇佐市の議員が編集しているのです。

議会だよりは、市議会の審議経過や活動を市民の皆さまにお伝えする大切な役割を担っています。市議会でのような課題が取り上げられ議論されたかを、ありのままお伝えできればと思っています。

議会だよりは、堅苦しいイメージがありますが、誰にでもわかりやすく親しみやすい議会だよりを目指し、また、若い世代の方にも議会の活動に興味を持っていただくような編集に力を入れています。広報紙「うさ議会」を通じて議会をもっと身近に感じていただき、より良い住みやすい宇佐市を、皆さまと一緒に築き上げていきたいと思います。

(河野睦夫)

## 《12月定例会の予定》

11/29	<b>(開会日)</b> 提案理由の説明
12/6~9	一般質問
12/13	議案質疑
12/14	常任委員会の審査 (文教福祉・産業建設)
12/15	常任委員会の審査 (総務)
12/21	<b>(閉会日)</b> 委員会の審査報告 質疑、討論、採決

※新型コロナウイルス感染症に伴い入場の制限がある場合があります。

# コミュニティバスについて

茨城県笠間市

## ▼いまのコミュニティバスの課題は

- 荷物をもって歩くのが大変
- 乗りたいたときに乗ることができない
- 路線バスがある地域では運行できない
- 一人乗るのに5千円以上の費用がかかっている
- 路線が複数ある

## ▼笠間市民乗合タクシーの勉強に行きました

- 事前に利用者登録をする
- 乗車チケット(400円)を購入する
- 予約センターに電話して、利用したい日時と乗降場所を伝える
- 同じ時間帯に予約した利用者と乗合で、目的地まで行く

## ▼行ってみて分かりました

これは良い

- 自宅から商店や病院までドア to ドア
- 必要な便数だけ運行する
- 経済的で環境にも良い
- 路線バスがある地域でも走れる

ここは困ったぞ

- おおよその時間内では、乗り降りできない
- 宇佐市は面積が広いので時間がかかる
- 一人400円の利用料は高いかも
- 配車するためのシステムと職員のスキルが必要

## ▼まとめ

免許返納者が増えていく。そのまま宇佐市に導入することは難しいが、市民に便利な公共交通を考えていく。

## ※その他の視察内容

- 移住定住政策について
- 投票率向上について



総務常任委員会

# 教育ICTの可能性

岐阜県岐阜市  
愛知県小牧市

## ▼いまの課題は

デジタル化の推進は、単に便利になるだけでなく、あらゆる面でより良い方向に変化させることができるか。

## ▼教育における新たな価値の創出

- 児童生徒一人ひとりの学習データの蓄積
- データを基に個別に最適化された学び
- 遠隔授業や動画教材の活用
- 多様な子ども達への質の高い教育
- 会議や研修のオンライン化
- 教職員間や保護者との連絡手段
- 採点業務や集計業務の時間短縮

## ▼ICTを活用した取り組み

- 欠席や遅刻、検温結果等の報告・連絡は保護者の端末から行い教員は一括確認
- 学習支援ソフトを活用して、一人ひとりの定着度に応じた個別最適な課題を提供
- 校務事務において、会議や研修のオンライン化
- 配布物の配信によって負担軽減

## ▼まとめ

教育分野でデジタル化が進む中、効果的な活用を図ることで、業務が効率化され教職員や保護者が児童生徒に向き合う時間が増え、一人ひとりと効果的なコミュニケーションを図ることが期待できる。



文教福祉常任委員会

## ※その他の視察内容

- 医療介護ネットワーク「おぶちゃん連絡帳」
- ウェルネスバレーと介護ロボット導入

# 水産業の振興について

富山県射水市

## ▼いまの漁業者の現状は

- 魚価の低下
- 後継者不足

## ▼そこで富山県射水市に勉強に行きました

- いずみサクラマスのブランド化について
- 陸上での養殖を開始
- JR西日本との協定を結び
- サクラマスのブランド化に成功
- 市場で1200円以上の高値で取引される

## ▼まとめ

今回の視察で貴重な話を聞くことができた。今後魚価の向上や後継者不足の解消に向け、水産業発展に向け取り組んでいく。

水揚げされたばかりのヘニズワイガニ 全国的にも珍しい「昼セリ」を視察



産業建設常任委員会

## ※その他の視察内容

- 上下水道事業の包括的民間委託について
- 近江町市場について
- eスポーツについて